



大通棟愛称の採用おめでとう

大通棟愛称採用者へ賞状と副賞を贈呈

8月10日、役場庁舎で大通棟の愛称に採用された津別中学校3年生の斉藤叶夢(さいとうかなた)さんへ町長より賞状と副賞が贈られました。採用された「ウッドルーム」のロゴは11月に建物壁面と大型看板に設置され、除幕式を予定しています。



頑張る子どもたちを応援

津別町商工会青年部が7団体に各10万円を寄附

7月31日、津別町商工会青年部(上段左から2人目濱端紀行部長)は、習い事を頑張る子どもたちを応援するため、町内の少年団7団体に各10万円を寄附しました。濱端部長は「僅かばかりではありますが子どもたちの活躍の場を作って頂きたい」と挨拶し贈呈を行いました。

津別の大自然を満喫

津別町青少年交流事業

千葉県「船橋市」と山梨県「南アルプス市」の子どもたちが津別町を訪れ、津別の子もたちとの交流を行いました。船橋市は平成元年から、南アルプス市とは平成8年から交流事業がスタートしており、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた青少年交流が今年の夏に4年ぶりに行われました。

南アルプス市からは小学生と指導者合わせて25名が来町し、7月31日から8月2日まで2泊3日の日程で「かわ塾」を含む自然を感じるプログラムなどを体験しています。

船橋市との交流事業は8月6日から9日まで3泊4日の日程で行われ、野菜の収穫や森の香り作りなどを体験。7日には歓迎会が開催され、小学生と指導者38名が屋内ゲートボール場でジンギスカン鍋など、北海道の食に舌鼓を打ちました。

両市の子どもたちは北海道の大自然の温もりに触れ、津別町の短い夏を満喫しました。



1. かわ塾の様子(南アルプス市青少年交流事業)
2. 子どもたちの集合写真(船橋市青少年交流事業)



夏を楽しむ

つべつ七夕まつり・つべつ納涼盆おどり大会

夏の宵を楽しむイベントで、8月5日につべつ七夕まつり、8月15日につべつ納涼盆おどり大会がそれぞれ4年ぶりに開催されました。

つべつ七夕まつりでは、山鳴太鼓保存会による演奏やマジックショーなどたくさんのパフォーマンスが披露され、訪れた人を楽しませました。

つべつ納涼盆おどり大会では、仮装盆おどりコンテストが行われ、趣向を凝らした衣装で会場は大盛り上がりでした。



4年ぶりの青少年交流！ 山梨県南アルプス市・千葉県船橋市

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください



2023年8月。コロナ禍による影響で、4年ぶりの開催となった青少年交流が、津別町で開催されました。津別町の姉妹都市、山梨県南アルプス市の子どもたち18名と、民間からの交流が30年以上続く千葉県船橋市の子どもたち28名が津別町を満喫しました。

今年度から町内での農場体験や森林体験など、青少年交流事業では初めてとなる「オール津別」のプログラムを展開。そこで繰り広げられる交流と育かれたものとは？4年ぶりの開催となった、津別町の青少年交流を取材しました。



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日
ごろ更新

《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》

問い合わせ先 住民企画課 企画係 14番窓口 ☎77-8374